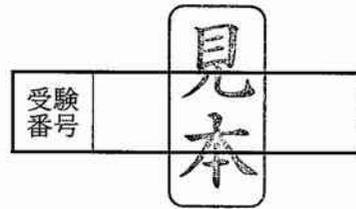


'14

前期日程



社会小論文問題

(教育学部)

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題に落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所等があった場合には申し出てください。
3. 解答は指定の答案用紙に記入してください。
4. 答案用紙は持ち帰ってはいけません。
5. 問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。
6. 時間は120分です。

1 OECD(経済協力開発機構)は、2011年から「よりよい暮らし指標」(Better Life Index)を発表した。どの国にとっても、よりよい暮らしに不可欠の11分野(住宅、収入、雇用、共同体、教育、環境、市民参加意識、健康、生活の満足度、安全、仕事と生活の両立)について、それぞれ10点満点で、36カ国を比較することができる。

2013年の総合ランキング1位はオーストラリア、2位はスウェーデン、3位はカナダ、日本は21位だった。周知のように、GDP(国内総生産)の世界ランキング(2012年)では、日本は3位の経済大国である。

このように「よりよい暮らし指標」(21位)とGDP(3位)の大きな差が発生した背景または理由について、下の表を参考にして複数の分野をとりあげ、あなたの考えを述べなさい。(600字程度)

表 「よりよい暮らし指標」各分野*の順位と総合順位

	1位	2位	3位	4位	5位	日本 (位)
住宅 [Housing]	アメリカ合衆国	カナダ	アイルランド	オーストラリア	ノルウェー	25
収入 [Income]	アメリカ合衆国	スイス	ルクセンブルク	ベルギー	カナダ	6
雇用 [Jobs]	スイス	ノルウェー	ルクセンブルク	オランダ	オーストリア	15
共同体 [Community]	アイスランド	アイルランド	イギリス	スイス	カナダ	21
教育 [Education]	フィンランド	日本	スウェーデン	大韓民国	ポーランド	2
環境 [Environment]	スウェーデン	イギリス	ノルウェー	アイスランド	デンマーク	22
市民参加意識 [Civic Engagement]	オーストラリア	スウェーデン	大韓民国	ニュージーランド	イギリス	22
健康 [Health]	ニュージーランド	オーストラリア	スイス	カナダ	イスラエル	29
生活の満足度 [Life Satisfaction]	スイス	ノルウェー	アイスランド	スウェーデン	デンマーク	27
安全 [Safety]	日本	カナダ	ポーランド	イギリス	オーストラリア	1
仕事と生活の両立 [Work-Life Balance]	デンマーク	オランダ	ノルウェー	ベルギー	スペイン	34
総合	オーストラリア	スウェーデン	カナダ	ノルウェー	スイス	21

(OECD Better Life Index のサイト(<http://www.oecdbetterlifeindex.org>)掲載データ(2013年5月アップデート)より作成)

* 各項目の日本語訳については、OECD 東京センター(<http://www.oecdtkyoo.org/>)の示す日本語訳を参考にした。

2 「赤信号みんなで渡れば怖くない」とは、30年ほど前に流行したピートたけし（北野武）のギャグである。これを踏まえたのか、最近、新聞の読者投稿の川柳の欄に「赤信号スマホ見てれば怖くない」という作品が掲載された（朝日新聞 2013年 6月5日）。もちろん、歩行者が道路を横断するときに赤信号を無視することは「怖い」ことであるが、この二つのフレーズが「社会の渡り方」を論じていると考えれば、なかなか興味深い。

では、「社会の渡り方」として、「赤信号みんなで渡れば怖くない」という考え方と「赤信号スマホ見てれば怖くない」という考え方は、それぞれどういうことを表していると解釈できるだろうか。具体例をまじえて説明しなさい。また、あなたは、この二つの考え方をどう評価するのか。理由を示して説明しなさい。（合わせて600字程度）

朝日新聞無断転載禁止